

財務諸表の説明

貸借対照表 (B/S)

貸借対照表は、年度末（3月31日）における本学の財政状況（資産、負債及び純資産の状況）を表します。（単位：百万円）

資産の部				負債の部			
	平成28年度	平成29年度	増減		平成28年度	平成29年度	増減
I 固定資産	265,200	258,118	△7,082	I 固定負債	57,055	51,966	△5,089
1 有形固定資産	260,951	254,330	△6,621	資産見返負債	51,325	47,886	△3,439
土地	128,141	128,141	0	債務負担金	2,843	1,750	△1,093
建物	84,460	82,234	△2,226	引当金	360	414	54
構築物	2,278	2,213	△65	長期未払金	1,545	925	△620
工具器具備品	16,653	13,692	△2,961	資産除去債務	980	990	10
図書	22,561	22,390	△171	II 流動負債	23,326	23,099	△227
美術品・収蔵品	327	318	△9	運営費交付金債務	1,228	1,480	252
船舶	5,187	4,625	△562	寄附金債務	7,794	8,071	277
その他	1,339	714	△625	前受受託研究費等	1,584	1,581	△3
2 無形固定資産	650	680	30	1年以内返済債務負担金	1,387	1,092	△295
ソフトウェア	247	247	0	未払金	8,592	8,247	△345
その他	401	432	31	その他	2,734	2,623	△111
3 投資その他の資産	3,598	3,106	△492	負債合計	80,381	75,066	△5,315
投資有価証券	3,141	2,532	△609	純資産の部			
その他	456	572	116		平成28年度	平成29年度	増減
II 流動資産	22,227	25,151	2,924	I 資本金	154,570	154,570	0
現金及び預金	10,033	15,705	5,672	II 資本剰余金	21,806	19,573	△2,233
未収学生納付金収入	153	164	11	III 利益剰余金	30,668	34,059	3,391
未収附属病院収入	5,045	6,043	998	前中期目標期間繰越積立金	29,204	29,202	△2
未収入金	1,284	1,023	△261	目的積立金	0	255	255
有価証券	4,900	1,294	△3,606	積立金	0	1,209	1,209
たな卸資産	46	55	9	当期末処分利益	1,464	3,392	1,928
医薬品及び診療材料	548	556	8	純資産合計	207,045	208,203	1,158
その他	214	306	92	負債・純資産合計	287,427	283,269	△4,158
資産合計	287,427	283,269	△4,158				

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

●主な増減要因

【資産】

- 有価証券：△3,606百万円
※譲渡性預金の減
- 工具器具備品：△2,961百万円
※減価償却累計額の増
- 現金及び預金：+5,672百万円
※譲渡性預金の減に伴う預金の増

【負債】

- 資産見返負債：△3,439百万円
※資産見返補助金等の減
- 債務負担金：△1,093百万円
※返済額の減
- 長期未払金：△620百万円
※PFI事業に係る未払金の減

会計メモ① 企業会計のB/Sとの違い

国立大学法人会計では、運営費交付金等を受領した際、直ちに収益とせず、教育研究の義務を負ったと考え、いったん運営費交付金債務（負債）とします。また、資産の購入にあつた運営費についても資産見返負債とします。これらは、損益均衡のための仕組みであり、教育研究の実施や減価償却の進行に応じて、収益化していきます。

会計メモ② 企業会計のP/Lとの違い

企業会計では、利益に直結する売上高（収益）を重視しているのに対し、国立大学法人会計では業務の遂行状況がわかる費用を重視しています。また説明責任を果たすという観点及び法人の特色ある発展に向けての検討に寄与するという観点から、教育研究などの目的別に分類表示することが求められています。

財務諸表の説明

損益計算書 (P/L)

損益計算書は、一会計期間の運営状況を表したものです。

(単位：百万円)

費用				収益			
	平成28年度	平成29年度	増減		平成28年度	平成29年度	増減
I 経常費用	94,528	93,563	△965	I 経常収益	95,358	97,271	1,913
業務費	91,252	90,552	△700	運営費交付金収益	35,020	35,116	96
教育経費	5,409	5,566	157	学生納付金収益	10,033	10,098	65
研究経費	9,655	9,085	△570	附属病院収益	28,246	29,482	1,236
診療経費	17,216	17,503	287	受託研究収益	6,163	7,094	931
教育研究支援経費	1,655	1,579	△76	共同研究収益	1,377	1,650	273
受託研究費	6,025	6,909	884	受託事業等収益	1,040	1,228	188
共同研究費	1,363	1,655	292	寄附金収益	2,162	1,983	△179
受託事業費	1,021	1,216	195	施設費収益	98	259	161
人件費	48,903	47,036	△1,867	補助金収益	2,691	2,042	△649
一般管理費	3,010	2,850	△160	資産見返負債戻入	5,442	5,268	△174
財務費用	264	159	△105	財務収益	10	10	0
雑損	0	0	0	雑益	3,069	3,036	△33
II 臨時損失	98	350	252	II 臨時利益	75	32	△43
費用合計	94,626	93,913	△713	収益合計	95,433	97,303	1,870
当期総利益	1,464	3,392	1,928	目的積立金等取崩額	656	2	△654
計	96,090	97,305	1,215	計	96,090	97,305	1,215

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

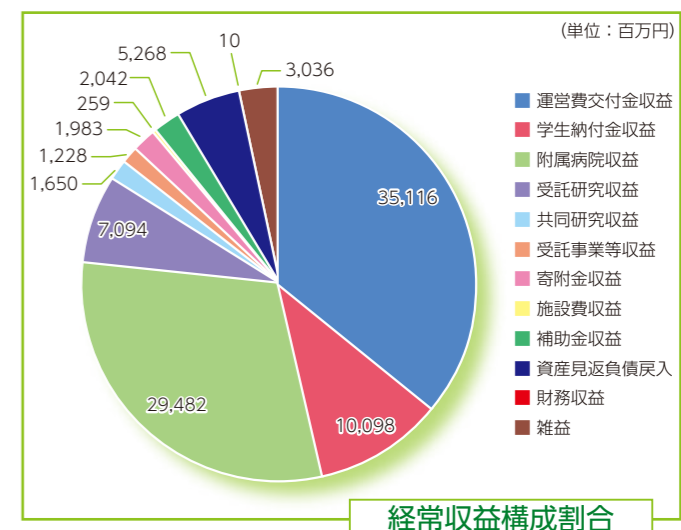
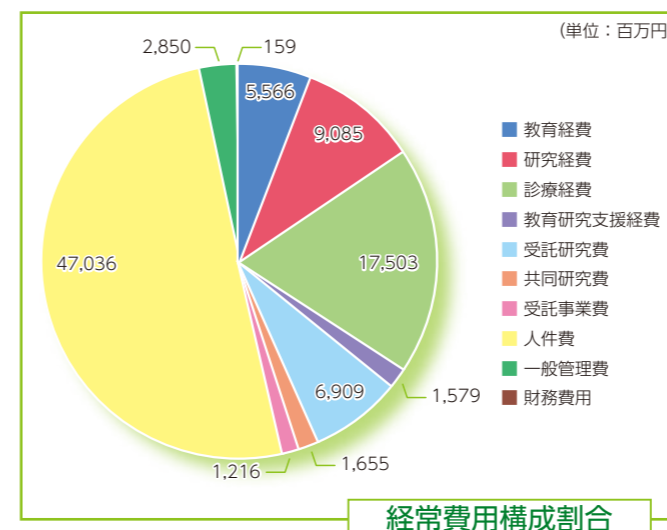
●主な増減要因

【経常費用】

- 人件費：△1,867百万円
※人員の減、退職者の減
- 研究経費：△570百万円
※減価償却費の減
- 受託研究費：+884百万円
※受入額の増加に伴う執行額の増

【経常収益】

- 補助金収益：△649百万円
※交付額の減に伴う収益化額の減
- 附属病院収益：+1,236百万円
※入院診療収益、外来診療収益の増
- 受託研究収益：+931百万円
※受入額の増加に伴う収益化額の増



会計メモ③ 資産見返負債戻入

メモ①で説明したとおり、国立大学法人会計では、資産の購入に充てた運営費等は、資産見返運営費等とし、購入時点では、その分の収益を認識しません。その後、減価償却費と同額の資産見返負債戻入を計上することで損益を均衡させます。民間企業と異なり、購入した資産は教育研究に使用され、利益を生み出すものではないため、このような処理を行います。

財務諸表の説明

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間のお金の流れを表します。

平成29年度においては、業務活動で獲得した資金を設備投資や借入金の返済に充てたことが分かります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー

教育・研究及び診療など、大学の通常業務の実施に伴う資金の収支状況を表します。

【収入>支出 (+表示)、収入<支出 (-表示)】

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

将来の運営基盤を確立するための投資の実施に伴う資金の収支状況を表します。

【設備投資の抑制 (+表示)、設備投資の拡大 (-表示)】

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

資金調達や返済などに伴う資金の収支状況を表します。

【借入の拡大 (+表示)、返済 (-表示)】

	平成28年度	平成29年度	差額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	7,514	7,011	△503
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	353	△2,983	△3,336
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,410	△2,356	1,054
IV 資金に係る換算差額	△0	0	0
V 資金増加額 (I + II + III + IV)	4,457	1,672	△2,785
VI 資金期首残高	5,576	10,033	4,457
VII 資金期末残高 (V + VI)	10,033	11,705	1,672

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

利益の処分に関する書類 (案)

損益計算の結果、当期に発生した利益の処分について明らかにしたものです。

(単位：百万円)

	平成28年度	平成29年度	差額
I 当期末処分利益	1,464	3,392	1,928
当期総利益	1,464	3,392	1,928
II 利益処分量	1,464	3,392	1,928
目的積立金 (教育研究向上及び組織運営改善積立金)	255	1,034	779
積立金	1,209	2,358	1,149

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

国立大学法人等業務実施コスト計算書

大学運営にかかる国民負担額を明らかにしたものです。

損益計算書の費用から自己収入を控除し、損益計算書に計上されないコストや機会費用を加味して算出します。

(単位：百万円)

	平成28年度	平成29年度	差額
I 業務費用	41,888	38,643	△3,245
(1) 損益計算書上の費用	94,626	93,913	△713
(2) (控除) 自己収入等	△52,737	△55,270	△2,533
II 損益外減価償却相当額	4,944	4,948	4
III 損益外減損損失相当額	0	0	0
IV 損益外利息費用相当額	2	2	0
V 損益外除売却差額相当額	△0	8	8
VI 引当外賞与増加見積額	△45	△34	11
VII 引当外退職給付増加見積額	△212	△93	119
VIII 機会費用	131	94	△37
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	19	18	△1
・政府出資の機会費用	112	76	△36
IX (控除) 国庫納付額	-	-	-
X 国立大学法人等業務実施コスト	46,710	43,569	△3,141

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

北大の1年間の運営にかかる
国民一人あたりのコスト

業務実施コスト 435億円



一人当たり 343円

(算出方法)

業務実施コスト435億円÷人口1億2,660万人

人口：平成30年2月1日現在 (総務省統計局データより)